

## 塩浜学園の先生方と若者たちへのメッセージ（第4弾）

現在、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今まで当たり前であったことさえも難しく、新しい生活様式が求められるようになってしまっています。このような状況の中、子供たちの成長と笑顔のために日々頑張られている先生方や新型コロナウイルス感染防止の観点から様々な制約のなかでも工夫して楽しんでいる皆様にメッセージを書かせていただきますね。



はじめまして、私は二十年ほど前の塩浜小学校・中学校の卒業生です。この度、ご縁あって校長先生よりスペシャルトークのお話をいただきました。塩浜学園の学校教育目標にすごく共感し、自分が今関わっていてやりたいことと重なるため、私ができることは協力させていただきたいと思いました。

「ふるさとを愛し、自ら夢を持ち、心豊かで、たくましく生きる児童・生徒の育成」  
～人をつなぐ 未来へつなぐ～

私が海外に初めて興味を持ったのは、中学3年生の時でした。英語の先生より市川市教育委員会が中心となり行われている姉妹都市への派遣事業（語学留学）の話聞き、運良く参加させていただきました。当時、派遣先はニュージーランドのオークランド市でしたが、今はドイツのローゼンハイム市に変わり、今でも相互交流が行われています。夏休み中2週間ほど親元を離れ現地のホストファミリーと一緒に過ごした時間は、私にとっては貴重な時間でした。私の英語レベルは英検3級ぐらいでしたが、同年代のスクールフレンドやホストフレンド、そして年下の弟たちとのコミュニケーションには言葉の壁はさほど感じず、終始ケラケラ笑って過ごしていました。むしろホストのママさんやパパさんとのコミュニケーションで「ちゃんと伝えないと」と緊張したことを覚えています。そして、何よりも私が「面白い」と思ったことが「言語」でした。「英語」という言葉1つで、現地に通う学生のニュージーランド人はもちろん、台湾人、韓国人、中国人の同年代の子達と会話ができました。正直、授業などは全くわかりませんでした。友達間での会話は楽しかった記憶しかありません。

勇気を出して海外に行くことに挑戦したおかげで、その後、世界観も広がり、英語を完璧に話そうとすることよりもボディランゲージでも言いたいことが伝わることの楽しさを知りました。そして、その後、韓国にも留学して現地で就職を試みたり日本でも就職を試みたりと興味があることを見つけてはいろいろ経験し挑戦してきました。

私は、約10年間、フィリピンセブ島の英語語学学校で日本人マネージャーとして働いていましたが、昨年、新型コロナウイルスの影響により日本に帰国しました。今は、「ふるさと」市川市で新型コロナウイルスにも負けず「たくましく」立ち向かいながら、「夢を持ち」フィリピンと日本で会社を立ち上げて「Cebu オンライン英会話&留学」の運営に挑戦しています。今の自分があるのはお世話になってきた周りの方々のおかげなので、少しでも恩返しをするために、職を失い困窮している現地の英語講師達と海外で英語を学ぶ機会が失われている日本人をオンラインで「つなぐ」ことをしています。そのように誰かのために働くことで自分自身も「心豊か」にやりがいを感じながら仕事ができている。

## Cebuオンラインとは



### 自宅とセブを繋ぐオンライン英会話レッスン 国内にいても留学と同じような環境を作り、英語を習得しよう！

セブ島にある英語留学教室で勤務経験のある講師の中から、実績や人気の高かった講師を集結させたオンライン英会話スクールです。新型コロナウイルスの影響で、英語学習の場を失った学生や社会人の皆さん、そして職を失った現地の優秀な講師。そのような方をオンラインでつなぎ、あなたの英語力を向上させ、人生を一変させるのが私たちCebuオンラインです。

※ Cebu オンラインのWEB サイトから引用

ここで突然ですが、皆さんの夢はなんですか？  
何をしている時が一番幸せですか？  
理想とする大人や人生はありますか？  
将来何がやりたいですか？

答えは1つじゃなくても構いません。思いつくことをメモに書き出してみてください。

これから「人生100年時代」といわれています。皆さんはこれからたくさんの出会いもあり経験も出来ます。そして好きなだけ選択することもできますし、計画することもできます。メモに書いたことに挑戦するためにはどんなことをすべきか考えてみてください。

私たちは、常に「挑戦」「チャレンジ」することが大切です。思った結果にならなくても、結果楽しんだもの勝ちです。そして、失敗することを恐れたり、苦労することを面倒に感じたりする時はひとりで悩まずに、お友達・仲間・家族・先生・周りの方に助けを求めましょう。ひとりでは難しいことも誰かと一緒に力を合わせれば出来ますから。

長くなりましたが、最後に、皆さんの挑戦を陰ながら応援させていただきます。

令和3年7月 塩浜小・中学校 卒業生より